

\*\*\*\*\*  
どうなる 私たちの暮らし

ひとつと  
「介護難民」は他人事じゃない  
～自分のこれからを考えよう～

女性の二人にひとり、男性の四人にひとりが90歳まで生きる現代。  
あなたは最晩年期を誰に支えて貰いますか。国は地域包括ケアシステムの構築により「施設」から「在宅」への流れを進めています。それはサービス事業所が少ない地方でどれ位可能でしょうか。またサービス利用料の自己負担化が進められるなか、その負担に耐えられない人はどうすればいいのでしょうか。  
ひとり暮らし、高齢夫婦、シングルの子と同居高齢者が増え続けるなか、私たちの介護の未来はどうなっていくのか。みんなで考えていきましょう。

【日時】 2017年 5月21日(日) 13:30～15:30

【会場】 広島県民文化センター ホール  
(広島市中区大手町1丁目5-3 TEL 082-245-2311)

【講師】 大熊由紀子さん(国際医療福祉大学大学院教授)



科学ジャーナリスト・元朝日新聞論説委員。亡き実母(末期がんで要介護4、認知症状のあるひとり暮らし)を5年間在宅で介護。その経験から自著「誇り・味方・居場所私の社会保障論」の中で「都会でも地域包括ケアで、しかも介護保険の範囲(内)で自宅で人生を全うすることが可能なことを母が証明してくれたような気がします」と述べています。福祉と医療、現場と政策をつなぐホームページ(ゆき・えにしネット)を開設。

【後援】 広島県・広島市・(社福)広島県社会福祉協議会・(社福)広島市社会福祉協議会

【参加費】 999円(会員500円)

男性の参加も  
大歓迎!

【チケット購入】 広島県民文化センター1Fフロント  
エディオン広島本店プレイガイド (サンモール1F・本通り側入り口すぐ)  
アルパーク天満屋3F プレイガイド

主催

高齢社会をよくする女性の会・広島

問い合わせ先

TEL 082-245-1250 (月・水:13:00～15:00)

URL <http://www.wabashiroshima.org/>

\*\*\*\*\*